



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所
コード番号 9171 URL <http://www.kuribayashishosen.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 均 (TEL) 03-5203-7982
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	35,576	△0.4	1,257	21.1	1,223	13.7	1,052	82.0
26年3月期第3四半期	35,702	7.9	1,038	64.7	1,075	81.1	578	△51.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,496百万円(△26.8%) 26年3月期第3四半期 2,044百万円(92.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	83.56	—
26年3月期第3四半期	45.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	53,086	14,064	21.6
26年3月期	50,750	12,638	20.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,457百万円 26年3月期 10,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△0.6	1,800	37.1	1,700	32.1	1,000	34.0	79.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	12,739,696株	26年3月期	12,739,696株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	143,564株	26年3月期	141,739株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	12,596,945株	26年3月期3Q	12,600,177株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後、個人消費が低迷したものの、企業収益の改善に伴い、雇用・所得環境の改善、設備投資の増加等、緩やかな回復基調が続いております。また、為替相場は円安が大きく進行し、原油相場は急激に価格が下落いたしました。一方海外では、米国は雇用環境の改善もあり消費・生産は堅調に推移しておりますが、中国経済における成長ペースの鈍化、不透明な中東情勢、欧州経済の停滞等による景気の下振れが懸念されます。

このような経済情勢の中、当社グループは、海運事業において、一部、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による貨物量の減少はあったものの、雑貨輸送の集荷に努めたことや原油価格の急落による燃料油価格の下落の影響もあり、収益を確保することができました。ホテル事業においては、客室改装等により客単価は上昇しましたが、消費税増税、円安の進行に伴い、特に北海道内の景気回復の立ち遅れの影響で苦戦いたしました。不動産事業は、概ね順調に推移いたしました。

事業セグメント毎の業績概況は、次のとおりであります。

(海運事業)

当第3四半期連結累計期間は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による太宗貨物の減少はあったものの、雑貨輸送等の集荷に努めた結果、売上高は前第3四半期連結累計期間並の336億1千9百万円となり、営業費用は前第3四半期連結累計期間に比べて3億3千6百万円減(1.0%減)の325億3千2百万円となったことから、営業利益は前第3四半期連結累計期間に比べて3億2千2百万円増の10億8千6百万円となりました。

(ホテル事業)

当第3四半期連結累計期間は、消費税増税、円安の進行に伴い、北海道内の景気が冷え込んだ影響を受け、売上高は前第3四半期連結累計期間に比べて1億7百万円減(6.6%減)の15億5百万円となり、営業費用はコスト削減に努めたものの、前第3四半期連結累計期間並の15億1千7百万円となったことから、営業損益は前第3四半期連結累計期間に比べて1億5百万円悪化の1千1百万円の営業損失となりました。

(不動産事業)

当第3四半期連結累計期間は、前第3四半期連結累計期間と同様に順調に推移し、売上高は前第3四半期連結累計期間に比べて5百万円減(1.2%減)の4億5千2百万円となり、営業費用は前第3四半期連結累計期間に比べて7百万円減(2.1%減)の3億2千9百万円となり、営業利益は前第3四半期連結累計期間に比べて1百万円増の1億8千3百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は355億7千6百万円(前第3四半期連結累計期間比1億2千5百万円減0.4%減)、営業利益は12億5千7百万円(前第3四半期連結累計期間比2億1千8百万円増21.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億6千9百万円増加の174億1千3百万円となりました。これは、現金及び預金が1億4千5百万円、受取手形及び売掛金が6億4千4百万円それぞれ増加し、繰延税金資産が1億1千8百万円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて16億5千7百万円増加の356億2百万円となりました。これは、船舶が20億5千6百万円、機械装置及び運搬具が1億5千5百万円、投資有価証券が3億7千1百万円それぞれ増加し、土地が1億8千9百万円、建設仮勘定が7億3千2百万円それぞれ減少したことによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億4千1百万円減少し、206億4千万円となりました。これは、1年内償還予定の社債が4億1千5百万円増加し、短期借入金が5億円、1年内返済予定の長期借入金が1億6千7百万円、未払法人税等が1億3千8百万円、賞与引当金が2億3千3百万円それぞれ減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて13億5千1百万円増加し、183億8千1百万円となりました。これは、長期未払金が12億6千万円増加したことによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14億2千5百万円増加し、140億6千4百万円となりました。これは、利益剰余金が9億8千9百万円、その他有価証券評価差額金が2億1千7百万円、少数株主持分が2億1千8百万円それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年2月6日)公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,285,634	6,431,238
受取手形及び売掛金	9,357,938	10,002,180
商品及び製品	47,589	52,278
原材料及び貯蔵品	326,689	324,623
繰延税金資産	217,678	98,792
未収入金	207,142	216,711
その他	326,239	312,227
貸倒引当金	△24,284	△24,319
流動資産合計	16,744,627	17,413,732
固定資産		
有形固定資産		
船舶	23,398,063	25,168,789
減価償却累計額	△15,814,151	△15,528,799
船舶(純額)	7,583,912	9,639,990
建物及び構築物	21,260,204	21,495,192
減価償却累計額	△15,501,792	△15,772,932
建物及び構築物(純額)	5,758,411	5,722,259
機械装置及び運搬具	8,233,366	8,621,273
減価償却累計額	△7,012,586	△7,245,302
機械装置及び運搬具(純額)	1,220,780	1,375,970
土地	7,445,896	7,256,834
リース資産	1,210,927	1,265,200
減価償却累計額	△500,355	△596,140
リース資産(純額)	710,571	669,060
建設仮勘定	788,988	56,634
その他	1,614,175	1,771,434
減価償却累計額	△1,409,919	△1,475,738
その他(純額)	204,255	295,695
有形固定資産合計	23,712,817	25,016,445
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウエア	77,973	63,012
のれん	252,635	236,453
その他	119,504	131,626
無形固定資産合計	1,483,371	1,464,351
投資その他の資産		
投資有価証券	7,409,272	7,780,956
長期貸付金	3,875	2,116
繰延税金資産	374,262	356,157
保険積立金	585,735	605,971
その他	419,476	418,082
貸倒引当金	△43,804	△41,664
投資その他の資産合計	8,748,818	9,121,620
固定資産合計	33,945,007	35,602,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
繰延資産		
社債発行費	61,069	69,874
繰延資産合計	61,069	69,874
資産合計	50,750,703	53,086,025
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,651,524	6,608,795
短期借入金	7,723,597	7,223,279
1年内返済予定の長期借入金	2,446,089	2,278,318
1年内期限到来予定のその他の固定負債	1,184,450	1,262,087
1年内償還予定の社債	1,018,660	1,434,160
リース債務	192,053	187,177
未払法人税等	440,066	302,022
賞与引当金	368,846	135,781
その他	1,057,277	1,209,223
流動負債合計	21,082,565	20,640,845
固定負債		
社債	2,939,340	3,027,260
長期借入金	5,368,866	5,312,629
長期末払金	3,316,969	4,577,666
リース債務	659,386	603,491
繰延税金負債	1,234,394	1,317,110
役員退職慰労引当金	653,007	672,423
退職給付に係る負債	1,872,872	1,946,681
負ののれん	764,035	703,218
その他	220,566	220,564
固定負債合計	17,029,438	18,381,045
負債合計	38,112,004	39,021,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	893,800	893,800
利益剰余金	6,595,609	7,585,275
自己株式	△37,360	△37,920
株主資本合計	8,667,084	9,656,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,583,197	1,801,181
その他の包括利益累計額合計	1,583,197	1,801,181
少数株主持分	2,388,416	2,606,761
純資産合計	12,638,699	14,064,134
負債純資産合計	50,750,703	53,086,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	35,702,539	35,576,585
売上原価	30,141,575	29,745,232
売上総利益	5,560,963	5,831,352
販売費及び一般管理費	4,522,400	4,573,875
営業利益	1,038,562	1,257,477
営業外収益		
受取利息	438	425
受取配当金	160,209	162,681
助成金収入	72,560	54,762
負ののれん償却額	60,817	60,817
その他	48,067	41,692
営業外収益合計	342,092	320,379
営業外費用		
支払利息	271,607	292,728
その他	33,148	61,315
営業外費用合計	304,756	354,044
経常利益	1,075,899	1,223,812
特別利益		
固定資産処分益	5,665	671,265
保険解約返戻金	11,360	9,908
補助金収入	22,477	1,942
その他	3	890
特別利益合計	39,506	684,006
特別損失		
固定資産処分損	844	15,119
役員退職慰労金	14,760	—
厚生年金基金解散損失	—	26,528
その他	1,934	1,550
特別損失合計	17,538	43,197
税金等調整前四半期純利益	1,097,867	1,864,621
法人税、住民税及び事業税	315,184	509,540
法人税等調整額	112,857	91,165
法人税等合計	428,042	600,705
少数株主損益調整前四半期純利益	669,824	1,263,915
少数株主利益	91,587	211,259
四半期純利益	578,237	1,052,656

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	669,824	1,263,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,366,707	232,997
繰延ヘッジ損益	7,911	—
その他の包括利益合計	1,374,618	232,997
四半期包括利益	2,044,443	1,496,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,910,665	1,270,640
少数株主に係る四半期包括利益	133,777	226,273

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,632,572	1,612,238	457,728	35,702,539	—	35,702,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	60,161	60,161	△60,161	—
計	33,632,572	1,612,238	517,889	35,762,700	△60,161	35,702,539
セグメント利益	763,681	93,427	181,453	1,038,562	—	1,038,562

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,619,278	1,505,081	452,225	35,576,585	—	35,576,585
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	60,172	60,172	△60,172	—
計	33,619,278	1,505,081	512,397	35,636,758	△60,172	35,576,585
セグメント利益又は損失(△)	1,086,395	△11,987	183,068	1,257,477	—	1,257,477

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

平成27年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	26年4月～6月	7月～9月	10月～12月	27年1月～3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,484	11,756	12,335	
営業利益	4	438	814	
経常利益	53	355	814	
税金等調整前四半期純利益	432	343	1,089	
四半期純利益	121	135	796	
1株当たり四半期純利益	円 9.62	円 10.75	円 63.20	円
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	53,106	52,104	53,086	
純資産	12,705	12,865	14,064	

平成26年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	25年4月～6月	7月～9月	10月～12月	26年1月～3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,512	11,862	12,327	11,561
営業利益又は営業損失(△)	△52	465	626	274
経常利益	27	413	634	211
税金等調整前四半期純利益	21	439	636	312
四半期純利益	33	206	338	168
1株当たり四半期純利益	円 2.65	円 16.41	円 26.83	円 13.35
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	49,147	48,498	50,087	50,750
純資産	11,579	12,171	13,116	12,638